

登録コード	FSC15600	開講年度	2026			
授業題目	感性工学演習Ⅲ				担当教員	田中 稔久 他
英文授業名	Advanced Seminar on Kansei Engineering III				副担当	佐古井 智紀・堀場 洋輔
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				⇔	【授業の達成目標】
	26FS加・繊維学					
	【専攻】基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力, さらにそれを発展的に応用できる能力				⇔	基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力, さらにそれを発展的に応用できる能力
	【専攻】繊維科学に関連する学際・業際領域を切り拓く創造的能力				⇔	繊維科学に関連する学際・業際領域を切り拓く創造的能力
	【専攻】専門分野において企画・管理等を行えるマネジメント能力				⇔	専門分野において企画・管理等を行えるマネジメント能力
	【専攻】専門分野における深い学識に基づく, 卓越した実践的技術力および研究能力				⇔	専門分野における深い学識に基づく, 卓越した実践的技術力および研究能力
(2)授業の概要	担当教員ごとの少人数グループに分かれて, 集中形式で計14回の演習を実施する。 各院生が感性工学に関連する資料をまとめてプレゼンテーションを行い, 担当教員および演習参加の院生間で討論を行う。 修士課程の2年目に「感性工学演習Ⅳ」とともに通年で受講すること。					
(3)授業計画	担当教員ごとに, 対面及びオンライン授業(非同期・同期)を実施する。 各担当教員の指示・連絡に従うこと。 第1回 材料と製品設計,感覚と運動生理学及び感性情報に関連する英文論文の検索(全教員) 第2回 感性情報に関連する英文論文の検索(全教員) 第3回 検索した英文論文の要約の読解と整理(概要把握と整理方法)(全教員) 第4回 検索した英文論文の要約の読解と整理(データベース化)(全教員) 第5回 検索した英文論文の内容(材料化学分野)についてプレゼンテーション演習およびグループ討論(全教員) 第6回 英文論文の内容(製品設計関連)についてプレゼンテーション演習およびグループ討論(全教員) 第7回 英文論文の内容(感覚生理学分野)についてプレゼンテーション演習およびグループ討論(全教員) 第8回 英文論文の内容(運動生理学分野)についてプレゼンテーション演習およびグループ討論(全教員) 第9回 英文論文の内容(感性情報関連)についてプレゼンテーション演習およびグループ討論(全教員) 第10回 材料化学と製品設計,感覚と運動生理学及び感性情報に関連する論文作成技術の演習(全教員) 第11回 製品設計に関連する論文作成技術の演習(全教員) 第12回 感覚生理学に関連する論文作成技術の演習(全教員) 第13回 運動生理学に関連する論文作成技術の演習(全教員) 第14回 感性情報に関連する論文作成技術の演習(全教員)					
(4)成績評価の方法	出席を含む授業への参加態度(60%) 発表の内容による評価(40%) 得点率による評価基準は次の通りとする。 90%以上 秀, 89-80%優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(5)成績評価の基準						
(6)事前事後学習の内容						
(7)履修上の注意	修士課程の2年目に「感性工学演習Ⅳ」とともに通年で受講すること。					
(8)質問,相談への対応	随時					
(9)授業の形式	小グループに分かれて行うディスカッション形式					
(10)学生へのメッセージ	担当教員への質問や討論などは積極的に行うこと。					
【教科書】	担当教員と相談の上, 選定する。					
【参考書】	必要に応じて紹介する。					